



Vol. 545 令和2年3月

NEWS



NPO 法人 横浜発明振興会

今月の行事

予定しておりました3月8日(日)の日曜発明教室は、新型コロナウイルスの感染防止のため、開催を中止させていただきます。

4月のハマ発明教室 予告

と き 令和2年4月12日(日)
PM 1:00~4:30
ところ 関内駅前ホール(加瀬の貸し会議室)
横浜市中区尾上町4-56-2 加瀬ルビ154 4階
1. 発明教室発表作品展示コンクール
2. 発明研究会 テーマ: 未定
3. おしらせ、その他

商標「拳」で悪を討つ!

特許庁、動画で普及啓発

特許庁は商標制度の普及啓発を目的とした動画・特設サイト「商標権—ビジネスを守る奥義」を公開した。一般的に中小企業やベンチャーなどは知的財産権を管理する体制が不十分で、同制度への関心も低く、模倣品の被害に遭いやすいとされる。こうした経営上のリスクに関心を持ってもらうため、サイトを通じて訴える。

サイトに公開した動画は物語形式。模倣品の被害に遭った経営者が「商標拳(権)」を会得して悪徳業者に立ち向かう。一方、特設サイトでは商標制度を理解してもらうため、基礎知識や商標権を活用した好事例などを説明。無料で専門家に相談できる「知財総合支援窓口」を紹介する。

国内の中小企業358万社のうち、2018年に商標出願したのは約3万社にとどまる。商標権を獲得して自社の知財を防衛・活用することが重要になっている。

(日刊工業新聞 2月4日)

===== も く じ =====

研究会の案内 1
ハマ発明教室報告 2, 3
情報提供、お知らせ、 1, 4

○4月のハマ発明教室のご案内

来月4月12日の発明教室は、恒例の発明教室発表作品展示コンクールを行ないます。

出品は、昨年5月から今年2月までに発表された作品が対象です。今年度は2回、発明教室が中止になり、例年より発表件数が少ないですが、発表をされた方は奮ってコンクールにご参加くださるようお願いいたします。

第614回ハマ発明教室(日曜発明教室)報告

関内駅前ホール(加瀬の貸し会議室)にて、2月9日に開催しました。

出席者 21名

○第一部 ハマ発明教室作品発表

作品名	発表者
①聴力低下した人とTV視聴しながら普通の家庭団欒を果たす耳元スピーカー	鋸屋 卓明氏

②屋根置き防災シート	大川 元一氏
------------	--------

③蔦用花器	小林 芳人氏
-------	--------

○投票総数16票の結果、次の方に賞が決まりました。

『最優秀賞』 7票

②屋根置き防災シート	大川 元一氏
------------	--------



今回、「発明の卵(ヒント)」で紹介されました、災害時に使用するブルーシートの固定方法に対する作品発表でした。重しの土嚢の代わりに水を使うことで、簡便に設置固定ができ、又、たたためて保管できるとの事でした。早速にご提案くださり有難うございました。

なお、ひょっとしたら似たものがすでにあるのではないかと、キーワード防水屋根シート水袋

付きで検索しましたら「らく棟シート」が屋根工事業の(株)鶴弥で商品化されていたので、ご参考にしてください。

『奨励賞』

①聴力低下した人とTV視聴しながら普通の家庭団欒を果たす耳元スピーカー
テレビのスピーカー出力はそのまま、耳元スピーカーからは増幅された音声が聞こえると同時に、会話もマイクロホーン音を重畳できることを特長としたものでした。また、スピーカー外周はケースで覆い、指向性も考えられて作られていました。



③蔦用花器
一輪挿しの応用として横置き蔦にもと考えられた作品でした。木枠は上村さんにお問い合わせで作られたことです。横置き試験管は傾斜がつくように穴加工となっていました。棚置きして飾られるといいですね!



○ハマ発明教室 評価アンケート調査報告
大庭 實氏

11月、12月に実施したアンケートの結果報告がありました。
項目: 作品発表の議事進行、
発表作品に関する討論内容、
発明の卵、歓談コーナー
発明研究会(講演、身近なヒント
発明展報告)



集計結果:大いに満足、満足が6~7割の評価でした。

コメント欄:

- ・宇都宮アイデアクラブとの連携をお願いしたい。
- ・アイデアブックを事前に配布してはどうか。
- ・発表作品に関係ない時間は割愛したほうが良い。
- ・皆さんのアドバイスをもらいながら頑張りたい。
- ・発表者の便宜を考えて、襟元に着けるマイクの使用を考えては。
- ・市販されているアイデア商品の「良かった」「ダメじゃん」の感想を聞いてみたい。
- ・会員の作業場を見学したい。
等のご意見がありました。

○今月の「発明の卵」 レトルトパック 絞り具
齋木 隆士氏

パック、チューブの絞りに便利にしていますが他にも使えることがないか考えてみてください。下村工業の機能ハサミシボレー品も参考にしてください。



○第二部 発明研究会

(1) 講演：新特許商品「IQつみき」

樋田 成人氏

弁理士兼発明家である当会理事の樋田氏に自ら発明された「IQつみき」を題材に、ライセンスを上手に使い利益を得るための工夫や備えるべき知識などについて、ご講演をいただいた。概要を以下に示します。



1. 発明特許は課題を解決する手段：既存商品や特許があったとしても課題が違えば特許が取れるため、特許をあきらめないでほしい。

2. 商品を考えよ：アイデアがアイデアを生む。鍋蓋法を用いて特許からできる商品を繰り返し頭の中で煮詰めて、喜ばれる商品を考え出すこと。そして、独占排他権のついたアイデアの事業企画を提案し、商品化に結び付けること。

3. 木製の積み木の弱点から：市販品の弱点と課題を分析し、新コンセプトとして、シリコンゴムの分割・切断ブロックを考案した。

4. 企業（実施権者）探し：まず、業界を調べて、話に乗ってくれる会社を見出し、意思決定権のある社長に会ってアイデアと事業計画を説明すること。

5. 「IQつみき」事業企画：商品の将来展開を説明するため、利益予想のグラフを描く際、利益の一本線では説明し難い。最高利益と最低利益の2本の線で利益範囲を示し、経費の線を加えて説明すれば、企業の社長は安心する。

6. ライセンス化とライセンス料：保有する知財権を業者にライセンス許可して商品化する場合、ライセンス料を営業利益25%ルールに従うと、定価1000円だとすると出荷販売価格は400円以下で作らないと流通が難しい。販売店や各卸し業者のもうけまでを考慮する必要があるためである。

7. 「IQつみき」の商品コンセプト：購買層



のニーズを解明して価値を生み出すマーケティングを考える。

商品デザインでは、材質、形、色、安全・安心（玩具ST基準）など。また手触り感などは実際に握って見ないとわからないため、試作品が必要である。3次元の立体円錐状の造形の斜め切断モデルを作り形状を確認した。金型はシリコンゴムの肉厚を嫌うため、いくつもある積み木形状の中で肉厚が大きくなる球形品をまず選び、8分割してカラフルな色彩を検討した。インスタ映えし、お母さんや子供たちに喜んでもらえそうな配色を専門デザイナーと検討した。

8. 「IQつみき」パッケージコンセプト：高級感を持たせ、高く買ってもらえる商品にするため、パッケージ（箱）をヨーロッパの高級チョコレートのように、見てわかる・プレゼントすると喜ばれるなどを期待できるパッケージを専門デザイナーと一緒に考えた。大きさなど含めて物流に適うように、1、2、3次案を試してパッケージを決めた。

9. 商品化・販売：販売は自分たちでは決められない。商品はまだ流通していないため、販売戦略が必要である。集合したセット商品だけでなく、分割した個別商品も用意し、PRプランナー（広報専門家）を活用し、PR企画を立てて課題解決のために仕掛けのためのスケジュールを立てた。

10. ラッキーキーワード
(守ってほしいこと)

- ・特許発明は課題解決する手段
- ・売るときのキャッチフレーズと共に
- ・鍋蓋法(BS法)
- ・ライセンスは事業企画の提案
- ・事業は、「誰に、何を、どのように」
- ・独占排他権のついた事業企画を提供

以上、アイデアから商品化・販売までに考えるべきことや行うべきことなどについての貴重なお話を聞かせていただいた。

(2) 伝達事項

1. 「ネットショップ」登録の報告 山岸 隆氏
発明学会「ネットショップ」は当学会員でないと登録ができない。ハマ発明の会員が利用できるように山岸氏(学会員)に登録をしていただいた。
2. 「ミニコンクール」の説明 小林芳人氏
発明学会「ミニコンクール」の概要説明とパンフレットの配布をしていただいた。「ミニコンクール」は協賛企業が求めるテーマに関してアイデアを提案し、当学会の支援で売込み、商品化を目指す企画コンクールです。商品化での実施料は約3%です。その応募手順は、所定の応募用紙を申し込み、アイデアの説明書を作成し応募となります。

企業博物館 MMに集結

横浜・みなとみらい21 (MM21) 地区で「企業博物館」の集積が進んでいる。京浜急行電鉄（横浜市西区）と資生堂（東京都）が昨年から今年にかけて相次いで開業。「古顔」となった三菱重工業（同）や日産自動車（横浜市西区）は新たな仕掛けに工夫を凝らす。名だたる大企業のPR拠点がひしめく最前線をのぞいた。

「小さい施設だが、子どもの大きな笑い声を響き渡らせた。1月21日に開かれた「京急ミュージアム」のオープニングセレモニーで、京急の原田一之社長が抱負を述べた。本社1階の約200平方メートルに収容した博物館のキーワードは「本物を見て、触れて、楽しむ」。昭和期を彩った車両「デハ236号」の実物をはじめ、沿線風景を模した巨大ジオラマ、実機の運転台を使ったシミュレーターが並ぶ。腐食していたデハ236号の車体はグループ社員らが総力を挙げて修復し、鮮やかな赤をよみがえらせた。旧型の車内扇風機や案内図、駅舎のごみ箱といった細部にまでこだわって往時を再現し、鉄道ファンのハートをつかんでいる。

すぐ隣の街区では資生堂が「グローバルイノベーションセンター」を構える。ミュージアム機能を備えた研究開発拠点として、昨年4月に本格稼働した。館内に入ると、幅約20メートル、高さ約5メートルの巨大ディスプレイが目を引く。発光ダイオード（LED）技術を駆使し、動物などの動画を高精細かつ大迫力で表現。近隣の保育園が散歩コースに組み込むほど、子どもたちの人気を集める。2階には化粧品メーカーのノウハウを凝縮した装置を用意。顔の輪郭や頬の長さなどを人工知能（AI）が識別し、最適な口紅の色合いからチークやアイラインの有無まで助言する。コスメの効能を理科の視点から分かりやすく紹介するコーナーも設けた。グローバル広報部の宋由美さんは「『美』にまつわる展示をちりばめている。自社の世界観を存分に感じてほしい」と話す。

今月24日にリニューアルオープンを控えるのは、三菱重工が1994年に開設した「三菱みなとみらい技術館」だ。構成する4区画の中核部分を刷新。街並みのイラストに触れると映像や音が飛び出す「タッチウォール」を導入し、多彩な事業領域をアピールする。

日産グローバル本社1階のギャラリーには昨年9月、歴史をテーマに据えたゾーンが新設された。往年の車両を順次公開し、その特徴を大型スクリーンで解説。過去の自動車専門誌が読めるライブラリーもしつらえた。

県内外から企業の拠点進出が加速するMM21地区。消費トレンドが「モノからコト」へとシフトする中、体感型の仕掛けを中心とした企業博物館が増えることで、オフィス街としての魅力が一層高まりそうだ。（神奈川新聞 2月18日）

MM21地区には、他にも日清食品（株）の企業博物館、カップヌードルミュージアム横浜（安藤百福発明記念館横浜）があり、人気を博しています。

『IQ つみき』、日曜発明学校において公開調印式

2月16日、「IQ つみき」を発明された当会会員の樋田成人氏、商品化を引き受けられた（株）榊原工業代表取締役社長石川良治氏、発明学会中本繁実会長の三者が、契約書に調印をして契約が成立しました。



樋田氏の発明品、「博士のIQパズル」は下村企販（株）で、第二弾の「博士のIQデザインパズル」は（株）モリセイで商品化されています。

デモ販売は、昨年引き続き、丸井デパート吉祥寺店、東急ハンズ池袋店、としまMONOづくりメッセ（池袋サンシャイン文化会館）です。また、1月よりアマゾン通販でも販売中です。応援をよろしくお願い致します!!



定価 ¥13000

○展示会情報

- 1、介護・福祉ロボット&機器開発展
3/16～3/18 東京ビックサイト南棟1～4
10時～17時 料金¥5000（事前登録無料）
- 2、健康機器展
3/17～3/19 青海A-Bホール 10時～17時
料金¥5000（事前登録無料）

火	山岸 隆	金	()
水	石井 栄	土	小峰 一男

来訪の時は、電話にて駐在確認をお願いします。FAXまたはメールもご利用ください。

事務所 TEL/FAX： 045-664-9070

Eメール：info@yokohama-hatsumei.com